

越境・混淆・共生——東アジアにおける文化生成

2020年2月11日（火・祝）

於 一橋大学 国際研究館4F 大教室



13:00~13:10 開会の辞

13:10~14:30 第1講

「移動と創作言語から見る金史良文学の生成——北京での「漫遊」をめぐる二言語の随筆を中心に」

高橋梓（言語社会研究科非常勤講師）

14:40~16:00 第2講

「ベトナムの自画像——東アジアと東南アジアの狭間の薬と医学」

小田なら（千葉大学グローバル関係融合研究センター特任研究員）

16:10~17:30 第3講

「非文字文化としての中国芸能研究」

吉川良和（言語社会研究科特任教授）

17:30~18:00 全体討議

18:00~20:00 懇談会



<https://gensha.hit-u.ac.jp/news/detail/event-20200211.html>

入場無料、予約不要、ただし収容人数に限りあり（約80名）
また懇談会は若干の参加費を申し受けることがあります

お問合せ：a.nakai@r.hit-u.ac.jp

